

目 次

□巻頭言 ある体験……………持 田 三 郎 / 1

□昭和 53 年度官公庁の事業概要 (その 3)

 通商産業省電源開発事業の概要……………村 山 正 純 / 3

 高速道路関越トンネルの施工状況……………坂 山 川 安 明 男 生 / 7

 金沢高架橋 (PC 橋) の移動式支保工……………田 中 国 喜 也 / 15

 港湾工事におけるプレハブ鋼矢板セル工法……………三 木 貴 / 27

□随 想 機 械 と 人 間……………星 埜 和 / 32

掘削工法に使われる安定液の作用とその取扱い……………藤 井 清 光 / 35

砂れきの大規模スラリー輸送システム—ハイドロホイストの適用
……………坂 本 正 健 克 二 / 40

J.C.M.A. 欧州建設機械化視察団報告……………坪 質 / 44

グラビヤ—EXPOMAT 78

□部会研究報告

 新工法調査報告 (3)……………調 査 部 会 / 50

□新機種ニュース……………調 査 部 会 / 55

□整備技術

 冷却系統の保全 (1)……………整 備 技 術 部 会 / 59

□ISO 規格紹介

 建設機械の安全性の必要条件
 および居住性に関する ISO 標準規格 (10)-2……………I S O 部 会 / 62

□支部便り

 各支部定時総会開催…………… / 65

 建設機械優良運転員・整備員の表彰……………北 海 道 支 部 / 75

 建設機械優良運転員・整備員の表彰……………北 陸 支 部 / 75

 建設機械優良運転員・整備員の表彰……………中 部 支 部 / 75

 建設機械優良運転員・整備員の表彰……………関 西 支 部 / 76

 優良建設機械運転員・整備員の表彰……………中 国 支 部 / 76

□統 計

 建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……………調 査 部 会 / 77

行 事 一 覧…………… / 78

編 集 後 記…………… (佐々木・鈴木康) / 80

◀表紙写真説明▶

NIKKO パワーショベル BH 70 L

株式会社 日本製鋼所

BH シリーズの中型機種である BH 70 (バケット標準容量 0.7 m³) は L タイプと S タイプの 2 機種があるが、写真は L タイプのもので、長いリーチを利用して横浜の国道 246 号線沿い東急宅地造成現場で作業中のところである。この L タイプのほか、S タイプは強力な掘削力を必要とする作業のための機械で、掘削力 11 t である。

BH 70 主要仕様

	BH 70 L	BH 70 S
バケット容量	0.42~0.8 m ³	0.42~1.0 m ³
機 械 重 量	18,000 kg	18,100 kg
接 地 圧	0.44 kg/cm ² (600 mm 履帯)	
掘 削 力	9.3 t	11.0 t
最大掘削深さ	6,400 mm	5,750 mm
最大掘削半径	9,690 mm	9,090 mm
最大掘削高さ	9,190 mm	8,820 mm
垂直掘削深さ	5,610 mm	3,740 mm